

第37回管理栄養士国試対策模擬試験 「かんもし」的中問題*



的中問題数		
第1回	23問	合計 78問
第2回	26問	
第3回	29問	

2023年「かんもし」から**78問**的中しました！

*的中問題とは、国試問題に対して①正答肢と内容が一致した選択肢を含む問題、②誤答肢と内容が一致した選択肢を2肢以上含む問題としています。

2023年かんもしの問題

第2回問題2

わが国の水質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)活性汚泥は、多量の嫌気性菌を含む。
- (2)上水道の水質基準では、水銀は検出されないこととされている。
- (3)下水道の普及率は、9割を超えている。
- (4)溶存酸素量(DO)が多いほど、水質は良好である。〔○〕
- (5)化学工場の排水には、化学的酸素要求量(COD)が少ない。

第1回問題3

平均寿命、平均余命および健康寿命に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)完全生命表は、国民健康・栄養調査に基づいて作成される。
- (2)40歳の平均余命に40を加えた値は、平均寿命より小さい。
- (3)平均寿命とは、その年に死亡した人の年齢の平均値である。
- (4)健康寿命とは、0歳時点から平均何年生きられるかの期待値である。
- (5)健康寿命は、平均寿命よりおよそ10年短い。〔○〕

第1回問題5

ROC曲線に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)縦軸の矢印①は、特異度を示す。
- (2)横軸の矢印②は、感度を示す。
- (3)ROC曲線③は、④より妥当性の高いスクリーニング検査を示す。〔○〕
- (4)ROC曲線では、偽陽性率を低くすると特異度は低くなる。
- (5)ROC曲線では、感度を高くすると偽陽性率は低くなる。

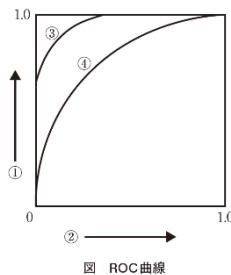


図 ROC 曲線

第2回問題6

身体活動・運動の現状に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)習慣的な運動は、血清HDLコレステロール値を低下させる。
- (2)最近10年間の「運動習慣のある者」の割合は、男性では65歳以上の方が20～64歳より高い。〔○〕
- (3)最近10年間の20歳以上の女性における1日の平均歩数は、増加傾向にある。
- (4)「健康づくりのための身体活動基準2013」では、18歳未満の者は3メッツ以上の身体活動を毎日60分行うことが推奨されている。
- (5)メッツ(METs)は、身体活動時のエネルギー消費量を基礎代謝量で除したものである。

第1回問題7

飲酒に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている女性は、減少傾向である。
- (2)生活習慣病のリスクを高める純アルコール摂取量とは、男性で1日40g以上である。〔○〕
- (3)アルコールは、脂質代謝への影響はない。
- (4)未成年者の飲酒は、健康増進法で禁じられている。
- (5)アルコール依存症では、飲酒開始年齢と発症リスクに相関がみられない。

第1回問題8

循環器疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)心疾患の年齢調整死亡率は、男性よりも女性が高い。
- (2)脳血管疾患による死亡数は、脳内出血が最も多い。
- (3)心疾患の粗死亡率は、近年、減少傾向にある。
- (4)循環器疾患の世界人口に基づいた年齢調整死亡率は、欧米諸国と比較して高い。
- (5)喫煙は、心疾患のリスク因子となる。〔○〕

第37回(2023年)管理栄養士国家試験問題

問題3

上水道および水質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)クリプトスポリジウムは、塩素消毒で死滅する。
- (2)水道水の水質基準では、一般細菌は「検出されないこと」となっている。
- (3)水道水の水質基準では、pHの基準値が定められている。〔○〕
- (4)水道水の水質基準では、水銀の量に関して「検出されないこと」となっている。
- (5)生物化学的酸素要求量が低いほど、水質は汚濁している。

問題5

わが国の平均寿命に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)0歳の死亡率が低下すると、平均寿命は短くなる。
- (2)平均寿命は、各年齢に対して算出される。
- (3)平均寿命は、全ての年齢の死亡状況を集約したものである。〔○〕
- (4)平均寿命は、WHOで採用している障害調整生存年数(DALYs)を用いて算出される。
- (5)健康日本21(第二次)では、平均寿命について、健康寿命の増加分を上回る伸びを目指している。

問題6

対象集団の有病率とスクリーニングの精度に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)有病率が高くなると、感度は低くなる。
- (2)有病率が高くなると、特異度は高くなる。
- (3)有病率が高くなると、偽陽性率は高くなる。
- (4)有病率が低くなると、陽性反応の精度は低くなる。〔○〕
- (5)有病率が低くなると、陰性反応の精度は低くなる。

問題7

身体活動に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)身体活動の増加は、大腸がんの発症リスクを低減する。〔○〕
- (2)国民健康・栄養調査によると、20歳以上の1日の歩数の平均値は、男女とも平成22年以降8,000歩を超えている。
- (3)国民健康・栄養調査では、運動習慣のある者の定義を「1回60分以上の運動を週4回以上実施し、1年以上継続している者」としている。
- (4)「健康づくりのための身体活動基準2013」では、18歳未満に対して、世代共通の方向性に加えて、定量的な身体活動の基準が定められている。
- (5)身体活動の強度の指標として用いられるメッツ(METs)は、身体活動時のエネルギー消費量を基礎代謝量で除した値である。

問題8

飲酒に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)健康日本21(第二次)では、「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」を、1日当たりの純アルコール量で男女とも40g以上としている。
- (2)健康日本21(第二次)では、妊娠中に飲酒する者をなくすことを目標としている。〔○〕
- (3)アルコール依存症の発症リスクは、飲酒開始年齢と関係がない。
- (4)1日平均飲酒量が増加するほど、血圧は低下する。
- (5)アルコールには、身体依存はない。

問題9

循環器疾患の疫学に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1)高血圧症のリスク因子として、カリウムの過剰摂取がある。
- (2)脳梗塞のリスク因子として、血清総コレステロールの低値がある。
- (3)虚血性心疾患のリスク因子として、血清LDLコレステロールの低値がある。
- (4)健康日本21(第二次)では、脳血管疾患・虚血性心疾患のリスク因子として、高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病を挙げている。〔○〕
- (5)最近10年間のわが国の虚血性心疾患による年齢調整死亡率は、米国よりも高い。

2023 年かんもしの問題	第 37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題
第 2 回問題 26 肥満に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 二次性肥満とは、生活習慣によって引き起こされる肥満である。 (2) 肥満では、インスリン感受性が高まる。 (3) 内臓脂肪型肥満よりも皮下脂肪型肥満の方が、生活習慣病を発症しやすい。 (4) 肥満症の診断基準に必須な健康障害に、COPD (慢性閉塞性肺疾患) が含まれる。 (5) 高度肥満の基準は、BMI 35 kg/m² 以上である。〔○〕	問題 10 わが国の成人の肥満とメタボリックシンドロームに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 平成 22 年以降の国民健康・栄養調査結果では、肥満者の割合は、男女とも 30 歳台にピークがある。 (2) BMI35kg/m² 以上を、高度肥満と定義する。〔○〕 (3) メタボリックシンドロームの診断基準では、空腹時血糖値は 100mg/dL 以上である。 (4) メタボリックシンドロームの診断基準には、LDL コレステロールが含まれる。 (5) 特定健康診査・特定保健指導の対象者は、30～74 歳である。
第 3 回問題 11 感染症法における 1 類感染症である。正しいのはどれか。1 つ選べ。 (1) 結核 (2) エボラ出血熱 〔○〕 (3) 急性灰白髄炎 (ポリオ) (4) 細菌性赤痢 (5) コレラ	問題 11 感染症法における 1～5 類感染症に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) コレラは、1 類感染症である。 (2) 痘そうは、2 類感染症である。 (3) 細菌性赤痢は、3 類感染症である。〔○〕 (4) ベストは、4 類感染症である。 (5) 結核は、5 類感染症である。
第 1 回問題 16 介護保険制度に関する記述である。正しいのはどれか。1 つ選べ。 (1) 市町村は、介護保険の保険者である。〔○〕 (2) 介護保険の被保険者は、20 歳以上の者である。 (3) 利用する介護保険サービスは、利用者自身で選択できない。 (4) 管理栄養士は、要介護認定の認定調査員になることができない。 (5) 介護保険サービスの自己負担額は、一律 3 割である。	問題 16 介護保険制度に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 保険者は、国である。 (2) 被保険者は、30 歳以上の者である。 (3) 要介護状態は、介護の必要の程度に応じて区分される。〔○〕 (4) 要介護認定は、主治医により行われる。 (5) 要介護度に応じて利用するサービスについて、利用者自身が選択・決定することはできない。
第 3 回問題 35 呼吸器系の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 右主気管支は、左主気管支よりも分岐する角度が大きい。 (2) 気管支は、線毛上皮で覆われている。〔○〕 (3) 左肺は、上葉・中葉・下葉に分かれている。 (4) 肺の拡張は、呼吸筋の弛緩による。 (5) 外呼吸とは、血液と末梢組織との間で行われるガス交換である。	問題 17 線毛を持つ上皮で内腔が覆われる器官である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 血管 (2) 気管 〔○〕 (3) 食道 (4) 小腸 (5) 膀胱
第 3 回問題 18 糖質と脂質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) ラクトースは、フルクトースとグルコースから構成されている。 (2) アミロースは、α-1,6 グリコシド結合の分枝構造をもつ。 (3) オレイン酸は、一価不飽和脂肪酸である。〔○〕 (4) α-リノレン酸は、ヒトの体内で合成できる。 (5) ステロイド骨格をもつ化合物を、コレステロールという。	問題 18 脂肪酸に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 脂肪酸は、カルボキシ基を持つ。〔○〕 (2) 脂肪酸は、二重結合が多くなるほど酸化を受けにくい。 (3) カプリル酸は、長鎖脂肪酸である。 (4) リノール酸は、体内で合成される。 (5) オレイン酸は、飽和脂肪酸である。
第 3 回問題 20 アミノ酸・たんぱく質の代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) フェニルアラニンは、チロシンから合成される。 (2) ロイシンの炭素骨格は、糖新生の材料となる。 (3) アラニンは、アミノ基転移反応によりピルビン酸になる。〔○〕 (4) γ-アミノ酪酸は、トリプトファンの脱炭酸反応により合成される。 (5) 尿素回路は、腎臓に存在する。	問題 21 糖質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) グリセロールは、グリコーゲンの分解により生じる。 (2) ヘキソキナーゼは、グルコースを基質とする。〔○〕 (3) グルコース輸送体 4 (GLUT4) は、肝細胞に存在する。 (4) アラニンは、筋肉でグルコースに変換される。 (5) ロイシンは、糖原性アミノ酸である。
第 2 回問題 22 個体の恒常性に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 体液の pH が低下すると、腎臓での重碳酸イオンの再吸収が亢進する。〔○〕 (2) 循環血液量が減少すると、アドレナリンの分泌が抑制される。 (3) 眼から光刺激を受けると、メラトニンの分泌が亢進する。 (4) 細胞外液の浸透圧が低下すると、バソプレシンの分泌が促進される。 (5) 体液の浸透圧は、9%の食塩水の浸透圧に等しい。	問題 22 酸塩基平衡に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 血液の pH は、7.0 ± 0.05 に維持されている。 (2) 呼吸性アシドーシスでは、腎臓から水素イオン(H⁺)の排泄が促進される。〔○〕 (3) 代謝性アシドーシスでは、呼吸数が減少する。 (4) 腎機能が低下すると、腎臓での重碳酸イオンの再吸収が促進される。 (5) ケトン体が増加すると、代謝性アルカローシスになる。
第 1 回問題 25 臨床検査に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) スパイロメトリーは、活動電位を記録する検査である。 (2) CT (コンピュータ断層撮影) は、磁気を利用する検査である。 (3) MRI (核磁気共鳴イメージング) 検査では、放射線被曝がある。 (4) 心電図の T 波は、心室筋の興奮を反映している。 (5) 超音波検査は、妊婦へ使用できる。〔○〕	問題 24 臨床検査に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 溶血性貧血による高ビリルビン血症では、直接ビリルビンが優位になる。 (2) 血中 CRP 値は、炎症で低下する。 (3) 抗 GAD (抗グルタミン酸脱炭酸酵素) 抗体は、自己抗体である。〔○〕 (4) 腹部エコー検査は、妊娠中の女性には禁忌である。 (5) MRI 検査は、X 線を利用して画像を得る。

2023 年かんものしの問題	第 37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題
第 1 回問題 132 がん患者の病態と栄養管理に関する記述である。誤っているのはどれか。1 つ選べ。 (1)化学療法では、食欲不振が出現する。 (2)放射線療法では、悪心が出現する。 (3)がん悪液質では、代謝異常がみられる。 (4)がん悪液質では、除脂肪体重が減少する。 (5)緩和ケアは、寝たきりになってから行う。〔×〕	問題 25 治療に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)発熱の患者に対する解熱鎮痛薬投与は、原因療法である。 (2)交差適合試験は、輸血の後に行う。 (3)早期胃がんに対する手術療法は、対症療法である。 (4)放射線治療では、正常細胞は影響を受けない。 (5)緩和ケアは、がんの診断初期から行う。〔○〕
第 2 回問題 69 摂食量の調節に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)レプチンの分泌増加は、摂食を促進する。 (2)コレスチトキニンの分泌増加は、摂食を促進する。 (3)インスリンの分泌増加は、摂食を抑制する。〔○〕 (4)血中遊離脂肪酸の濃度上昇は、摂食を抑制する。 (5)グレリンの分泌増加は、摂食を抑制する。	問題 26 ホルモンの分泌と働きに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)ソマトスタチンは、インスリン分泌を促進する。 (2)グルカゴンは、糖新生を抑制する。 (3)アディポネクチンは、インスリン抵抗性を増大させる。 (4)レプチンは、食欲を抑制する。〔○〕 (5)血中グレリン値は、空腹時に低下する。
第 1 回問題 30 循環器疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)狭心症は、心筋組織の壊死がみられる。 (2)心筋梗塞は、肺静脈の閉塞で生じる。 (3)左心不全では、肺うっ血を引き起こす。〔○〕 (4)心室細動では、生命の危険はない。 (5)肺塞栓は、冠状動脈の閉塞により引き起こされる。	問題 30 循環器疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)狭心症では、心筋壊死が生じる。 (2)腎血管性高血圧は、本態性高血圧である。 (3)心室細動は、致死性不整脈である。〔○〕 (4)右心不全では、肺水腫が生じる。 (5)心不全では、血中 BNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)値が低下する。
第 3 回問題 30 腎臓の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)ネフロンは、糸球体とボーマン嚢で構成される。 (2)糸球体では、赤血球が濾過される。 (3)傍糸球体装置は、レニンを分泌する。〔○〕 (4)遠位尿管では、グルコースが再吸収される。 (5)原尿の生成量は、尿の約 10 倍である。	問題 31 腎・尿路系の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)赤血球は、糸球体基底膜を通過する。 (2)1 日当たりの糸球体濾過量は、約 1.5L である。 (3)eGFR の算出には、24 時間蓄尿が必要である。 (4)尿の pH の変動は、血液の pH の変動より大きい。〔○〕 (5)レニンの分泌は、循環血漿量が減少すると抑制される。
第 2 回問題 32 内分泌疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)バセドウ病では、基礎代謝量が低下する。 (2)橋本病では、血清甲状腺刺激ホルモン (TSH) 濃度が低下する。 (3)原発性アルドステロン症では、血清カリウム値が上昇する。 (4)クッシング症候群では、中心性肥満がみられる。〔○〕 (5)褐色細胞腫では、低血糖がみられる。	問題 33 内分泌疾患とホルモンに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)尿崩症では、バソプレシンの分泌が増加する。 (2)原発性副甲状腺機能亢進症では、血清リン値が低下する。〔○〕 (3)原発性アルドステロン症では、血漿レニン活性が上昇する。 (4)アジソン病では、コルチゾールの分泌が増加する。 (5)褐色細胞腫では、カテコールアミンの分泌が減少する。
第 1 回問題 36 呼吸器系の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)右主気管支は、左主気管支よりも分岐する角度が大きい。 (2)左肺は、3 葉に分かれている。 (3)横隔膜は、呼吸時に収縮する。 (4)肺におけるガス交換は、能動輸送によって行われる。 (5)気管周囲には、平滑筋が存在する。〔○〕	問題 35 呼吸器系の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)右肺は、2 葉からなる。 (2)気管支平滑筋は、副交感神経の興奮で弛緩する。 (3)横隔膜は、呼吸時に収縮する。 (4)肺活量は、1 回換気量と予備吸気量と予備呼気量の和である。〔○〕 (5)外呼吸は、末梢組織における酸素と二酸化炭素のガス交換である。
第 3 回問題 40 免疫と生体防御に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)B 細胞は、細胞性免疫を担当する。 (2)T 細胞は、骨髄で成熟する。 (3)マクロファージは、抗原提示細胞である。〔○〕 (4)IgE は、IV 型アレルギーに関与する。 (5)IgG は、唾液に多く含まれる。	問題 40 免疫及びアレルギーに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)抗体は、マクロファージにより産生される。 (2)分泌型 IgA は、消化管の免疫を担う。〔○〕 (3)自己免疫性溶血性貧血は、I 型アレルギーの機序で起こる。 (4)ツベルクリン反応は、III 型アレルギーの機序で起こる。 (5)アナフィラキシーショックは、IV 型アレルギーにより発症する。
第 3 回問題 43 食料と環境に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)生物濃縮とは、生体から排出された物質が外界で濃縮・蓄積する現象をいう。 (2)フードマイレージは、地産地消の推進により増加する。 (3)トレーサビリティとは、流通経路がわかるよう商品を追跡するシステムをいう。〔○〕 (4)スローフード運動とは、未使用の食品を集め、福祉施設等に無償で配る活動をいう。 (5)食品ロスには、食品の生産段階で生じる廃棄は含まれない。	問題 43 人間と食品に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)人間は、食物連鎖の二次消費者に位置している。 (2)個人の食嗜好は、幼児期から高齢期に至るまで変化しない。 (3)わが国の生産額ベースの総合食料自給率は、2000 年以降約 60～70%で推移している。〔○〕 (4)フードマイレージは、地産地消が進むと大きくなる。 (5)食品ロスは、生産された食料のうち不可食部の廃棄を示している。

2023 年かんもしの問題

第 37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題

第 1 回問題 45

野菜の主な含有成分に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) だいこんの辛味成分は、S-メチルメチオニンである。
- (2) たまねぎの催涙成分は、スルフォラファンである。
- (3) ごぼうの褐変は、クロロゲン酸による。〔○〕
- (4) きゅうりの苦味成分は、レンチオニンである。
- (5) ほうれんそうの灰汁成分には、コハク酸が多い。

問題 44

野菜類の成分に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) ほうれんそうのシュウ酸は、腸管でのカルシウムの吸収を促進する。
- (2) にんじんの β -カロテンは、照射によって色調が変化する。〔○〕
- (3) なすのナスニンは、金属イオンに対するキレート作用で退色する。
- (4) だいこんのイソチオシアネート類は、リポキシゲナーゼの作用で生成する。
- (5) きゅうりのノナジエナルは、ミロシナーゼの作用で生成する。

第 3 回問題 53

細菌性食中毒に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) カンピロバクターによる食中毒は、魚介類が原因となる。
- (2) サルモネラ菌による食中毒の予防には、食品の中心温度 75°C 、1 分以上の加熱が有効である。〔○〕
- (3) 黄色ブドウ球菌による食中毒は、食品中で増殖した大量の生菌を摂取することで起こる。
- (4) セレウス菌の嘔吐毒 (セレウリド) は、 100°C 、30 分以上の加熱で失活する。
- (5) ボツリヌス菌による食中毒は、牛レバーの生食が原因となる。

問題 52

細菌性食中毒に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) カンピロバクター食中毒の潜伏期間は、1~5 時間程度である。
- (2) サルモネラ食中毒の原因食品は、主に発酵食品である。
- (3) ウェルシュ菌は、好氣的条件で増殖しやすい。
- (4) セレウス菌の嘔吐毒であるセレウリドは、耐熱性である。〔○〕
- (5) 乳児ボツリヌス症の原因食品は、主に粉乳である。

第 1 回問題 54

食品から感染する寄生虫症に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) クリプトスポリジウムは、水道水の経口摂取によって感染する。〔○〕
- (2) トキソプラズマは、ほたるいかにの生食によって感染する。
- (3) サルコシスティスは、ひらめの生食によって感染する。
- (4) アニサキスは、加熱不十分な豚肉の摂取によって感染する。
- (5) 肝吸虫は、海産魚類の生食によって感染する。

問題 54

経口感染症、人畜共通感染症および寄生虫症に関する記述である。誤っているのはどれか。1 つ選べ。

- (1) コレラの主症状は、激しい下痢である。
- (2) リステリア症は、人畜共通感染症である。
- (3) トキソプラズマは、猫の糞便から感染する。
- (4) 有鉤条虫は、主にサケ・マスの生食から感染する。〔×〕
- (5) サルコシスティスは、 -20°C 48 時間以上の凍結で死滅する。

第 3 回問題 57

食品表示基準に基づく一般用加工食品の表示に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 栄養成分表示において、飽和脂肪酸の量は表示が義務づけられている。
- (2) 100 g 当たりの熱量が 5 kcal 未満の食品には、「カロリーゼロ」の表示ができる。〔○〕
- (3) 落花生を原材料に含む場合は、含有する旨を表示しなくてもよい。
- (4) 非遺伝子組換え食品には、「遺伝子組換えでない」の表示が義務づけられている。
- (5) 賞味期限の表示は、すべての食品で省略することができない。

問題 57

食品表示基準に基づく一般用加工食品の表示に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 品質が急速に劣化しやすい食品には、賞味期限を表示しなければならない。
- (2) 食物繊維量は、表示が推奨されている。〔○〕
- (3) 食塩相当量の表示値は、グルタミン酸ナトリウムに由来するナトリウムを含まない。
- (4) 大麦を原材料に含む場合は、アレルゲンとしての表示が義務づけられている。
- (5) 分別生産流通管理された遺伝子組換え農作物を主な原材料とする場合は、遺伝子組換え食品に関する表示を省略することができる。

第 2 回問題 59

栄養機能食品として表示が認められている栄養成分と栄養機能表示の組合せである。正しいのはどれか。1 つ選べ。

- (1) ビタミン B_{12} ————— 「正常な血液凝固能を維持する栄養素です。」
- (2) パントテン酸 ————— 「皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。」〔○〕
- (3) ビタミン D ————— 「夜間の視力の維持を助ける栄養素です。」
- (4) 鉄 ————— 「正常な血圧を保つのに必要な栄養素です。」
- (5) カルシウム ————— 「将来の骨粗鬆症のリスクを減らす栄養素です。」

問題 58

栄養機能食品として表示が認められている栄養成分と栄養機能表示の組合せである。誤っているのはどれか。1 つ選べ。

- (1) カリウム ————— 「正常な血圧を保つのに必要な栄養素です」
- (2) 鉄 ————— 「赤血球を作るのに必要な栄養素です」
- (3) ビタミン B_1 ————— 「炭水化物からのエネルギー産生と皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です」
- (4) ビタミン D ————— 「骨粗鬆症になるリスクの低減を助ける栄養素です」〔×〕
- (5) ビタミン K ————— 「正常な血液凝固能を維持する栄養素です」

第 3 回問題 68

栄養学の歴史に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) クレプス (Krebs) は、窒素の含有量に基づいて食品中のたんぱく質量を評価できることを報告した。
- (2) リービッヒ (Liebig) は、消化吸収率を考慮した生理的燃焼値を提唱した。
- (3) アトウォーター (Atwater) は、全乳中に微量の副栄養素が含有されていることを提唱した。
- (4) フンク (Funk) は、米ぬかのエキスから鳥の白米病に対する治療効果のある有効物質を取り出した。〔○〕
- (5) ホプキンス (Hopkins) は、ビルビン酸の酸化経路であるクエン酸回路を発見した。

問題 68

栄養学の歴史上の人物と、関連する事柄の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) ルブネル (Rubner M) ————— 呼吸が燃焼と同じ現象であることを証明
- (2) クレプス (Krebs HA) ————— たんぱく質の窒素定量法を開発
- (3) ケルダール (Kjeldahl J) ————— 食事誘発性熱産生 (DIT) を提唱
- (4) アトウォーター ————— 消化吸収率を考慮した栄養素 (Atwater WO) の生理的熱量を提唱 〔○〕
- (5) ラボアジェ (Lavoisier AL) ————— クエン酸回路を発見

第 1 回問題 70

空腹時の血糖調節に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 筋肉から血中へのグルコース放出が促進される。
- (2) ケトン体からのグルコース合成が促進される。
- (3) アミノ酸からのグルコース合成が抑制される。
- (4) 脂肪酸からのグルコース合成が促進される。
- (5) グリコーゲン合成酵素活性が抑制される。〔○〕

問題 71

食後の糖質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 脂肪組織へのグルコースの取り込みが亢進する。〔○〕
- (2) 肝臓グリコーゲンの分解が亢進する。
- (3) グルコース・アラニン回路によるグルコースの合成が亢進する。
- (4) 脂肪酸からのグルコース合成が亢進する。
- (5) グルカゴンの分泌が亢進する。

2023 年かんもの問題

第3 回問題 74

摂取するたんぱく質の量と質の評価に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) 飢餓状態の窒素出納は、動的平衡状態となる。

(2) たんぱく質摂取量が減ると、ビタミン B₆ の必要量は増加する。

(3) たんぱく質効率 (PER) は、体重変化を指標として求める。〔○〕

(4) 生物価は、摂取窒素に対する体内保留窒素の割合で求める。

(5) ヒトにおける不可欠アミノ酸の必要量は、年齢にかかわらず一定である。

第1 回問題 74

脂質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) 空腹時、筋肉ではエネルギー源として脂肪酸を利用する。〔○〕

(2) 空腹時、小腸でのキロミクロン形成が亢進する。

(3) 食後、β 酸化系に与する酵素活性は上昇する。

(4) 食後、脳においてケトン体の利用が亢進する。

(5) 食後、ホルモン感受性リパーゼの活性は上昇する。

第3 回問題 76

コレステロールに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) コレステロールは、体内で合成することができない。

(2) LDL コレステロールの組織への取り込みには、受容体が必要である。〔○〕

(3) コレステロールは、副腎髄質ホルモン合成の材料となる。

(4) コレステロールから胆汁酸への代謝が行われるのは、小腸である。

(5) コレステロールは、エネルギー源としての役割をもつ。

第2 回問題 78

水溶性ビタミンに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) ナイアシンは、胃から分泌される内因子と結合して複合体を形成する。

(2) 葉酸が欠乏すると、血中ホモシステイン値が低下する。

(3) ビオチンは、体内で FAD や FMN とよばれる補酵素となる。

(4) ビタミン B₆ は、アミノ基転移反応の補酵素として働く。〔○〕

(5) ビタミン C は、コラーゲン合成を抑制する。

第2 回問題 80

水に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) 単位重量当たりの代謝水は、糖質より脂質の方が多い。〔○〕

(2) 不感蒸泄では、水とともに電解質が失われる。

(3) 細胞外液は、体重の約 40% を占める。

(4) 不可避尿量は、水分摂取量によって変化する。

(5) 高張性脱水は、水に比べて Na が多く喪失した場合にみられる。

第2 回問題 81

エネルギー代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) 安静時における単位重量当たりのエネルギー消費量は、脳より骨格筋の方が多い。

(2) たんぱく質の場合、生理的燃焼値より物理的燃焼値の方が低い。

(3) 呼吸商は、消費された酸素量を排出された二酸化炭素量で割って求める。

(4) 基礎代謝量とは、睡眠状態で必要な最小限のエネルギーである。

(5) 単位重量当たりの食事誘発性熱産生 (DIT) は、糖質よりたんぱく質の方が大きい。〔○〕

第1 回問題 82

栄養ケア・マネジメントの過程である。〔a〕→〔b〕→〔c〕→〔d〕→〔フィードバック〕に入る組合せとして、最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

a	b	c	d
(1) 栄養アセスメント	—— 栄養スクリーニング	—— モニタリング・評価	—— 栄養ケア計画の作成
(2) 栄養スクリーニング	—— 栄養アセスメント	—— モニタリング・評価	—— 栄養ケア計画の作成
(3) 栄養ケア計画の作成	—— 栄養スクリーニング	—— 栄養アセスメント	—— モニタリング・評価
(4) 栄養アセスメント	—— 栄養スクリーニング	—— 栄養ケア計画の作成	—— モニタリング・評価
(5) 栄養スクリーニング	—— 栄養アセスメント	—— 栄養ケア計画の作成	—— モニタリング・評価

〔○〕

第37 回(2023 年)管理栄養士国家試験問題

問題 73

たんぱく質・アミノ酸の体内代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) たんぱく質の摂取が不足すると、筋たんぱく質量が増加する。

(2) たんぱく質の摂取が不足すると、急速代謝回転たんぱく質の血中濃度が上昇する。

(3) たんぱく質の摂取が不足すると、ビタミン B₆ の必要量が増加する。

(4) たんぱく質の過剰摂取時は、尿中への排泄窒素量が増加する。〔○〕

(5) たんぱく質の過剰摂取時は、窒素出納が負になる。

問題 74

絶食時の脂質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) 血中のキロミクロンが増加する。

(2) 脂肪組織では、ホルモン感受性リパーゼ活性が低下する。

(3) 血中の遊離脂肪酸が減少する。

(4) 筋肉では、エネルギー源としての脂肪酸の利用が抑制される。

(5) 血中のケトン体が増加する。〔○〕

問題 75

胆汁酸の代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) 胆汁酸は、コレステロールから合成される。〔○〕

(2) 胆汁酸は、胆嚢で合成される。

(3) 腸管内に分泌された胆汁酸は、主に十二指腸で再吸収される。

(4) 腸内細菌の作用を受けて生成された胆汁酸を、一次胆汁酸という。

(5) コール酸は、二次胆汁酸に分類される。

問題 76

水溶性ビタミンと、それが関与する生体内代謝の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) ビタミン B₁ —— アミノ基転移反応

(2) ビタミン B₂ —— 一炭素単位代謝

(3) ナイアシン —— 炭酸固定反応

(4) パントテン酸 —— 血液凝固因子合成

(5) ビタミン C —— コラーゲン合成 〔○〕

問題 79

水と電解質に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) 代謝水は、栄養素の代謝により失われる水である。

(2) 不感蒸泄は、発汗により失われる水である。

(3) 不可避水分摂取量は、不可避尿量と等しい。

(4) 低張性脱水では、細胞外液から細胞内液へ水が移動する。〔○〕

(5) 細胞内液では、カリウムイオン濃度よりナトリウムイオン濃度が高い。

問題 81

非たんぱく質呼吸商を求めるために呼気分析を行い、以下の結果を得た。酸素消費量 A(L:リットル)、二酸化炭素排出量 B(L)、たんぱく質の燃焼による酸素消費量 C(L)、たんぱく質の燃焼による二酸化炭素排出量 D(L)。非たんぱく質呼吸商を求めるための計算式として、最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

(1) B/A

(2) (B-D)/(A-C) 〔○〕

(3) (B+D)/(A+C)

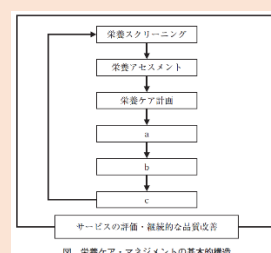
(4) (A-C)/(B-D)

(5) (A+C)/(B+D)

問題 82

栄養ケア・マネジメントの基本的構造である(図)。a～c に入る用語の組合せとして、最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

a	b	c
(1) モニタリング	—— 実施・チェック	—— 評価
(2) モニタリング	—— 評価	—— 実施・チェック
(3) 評価	—— 実施・チェック	—— モニタリング
(4) 実施・チェック	—— 評価	—— モニタリング
(5) 実施・チェック	—— モニタリング	—— 評価 〔○〕



2023 年かんもしの問題	第 37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題
第 2 回問題 113 主観的包括的評価 (SGA) に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 患者の QOL を評価するために用いられる。 (2) 侵襲性の高い検査を必要とする。 (3) 身体所見として浮腫の有無を確認する。〔○〕 (4) 評価項目として血糖値がある。 (5) 客観的栄養アセスメントとは関連性が認められない。	問題 83 栄養スクリーニングに関する記述である。誤っているのはどれか。1 つ選べ。 (1) 低コストの方法を用いる。 (2) 侵襲性が低い方法を用いる。 (3) 感受度が高い方法を用いる。 (4) SGA では、採血が必要である。〔×〕 (5) 簡易栄養状態評価表(MNA[®])は、体重変化を含む。
第 1 回問題 88 初乳より成熟乳に多く含まれる母乳成分である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) ラクトフェリン (2) たんぱく質 (3) リゾチーム (4) 乳糖 〔○〕 (5) 鉄	問題 87 単位重量当たりで、成熟乳(成熟乳)に比べ初乳に多く含まれる母乳成分である。誤っているのはどれか。1 つ選べ。 (1) ラクトフェリン (2) IgA (3) リゾチーム (4) ラクトース 〔×〕 (5) ビタミン A
第 1 回問題 93 更年期女性の生理的変化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 閉経は、60 歳頃に起こる。 (2) 卵巣刺激ホルモン (FSH) の分泌は、低下する。 (3) 黄体形成ホルモン (LH) の分泌は、低下する。 (4) 骨吸収は、促進する。〔○〕 (5) 虚血性心疾患の発症リスクは、低下する。	問題 91 更年期の生理的変化に関する記述である。減少または低下するものとして、最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 性腺刺激ホルモン放出ホルモンの分泌量 (2) プロゲステロンの分泌量 〔○〕 (3) 卵巣刺激ホルモン(FSH)の分泌量 (4) 黄体形成ホルモン(LH)の分泌量 (5) 血中 LDL コレステロール値
第 3 回問題 95 運動に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 無酸素運動では、筋肉中の乳酸が増加する。〔○〕 (2) 骨格筋の瞬発的な収縮の主なエネルギー源は、遊離脂肪酸である。 (3) 激しい運動時には、消化管の血流量が増加する。 (4) スポーツ貧血の予防には、ビタミン A 摂取が重要である。 (5) グリコーゲンローディングとは、試合直前に摂取する炭水化物量を減らす食事法である。	問題 95 身体活動時における骨格筋のエネルギー供給に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) クレアチンリン酸の分解によるエネルギー供給は、酸素を必要とする。 (2) 筋グリコーゲンは、グルコースに変換されて、血中に放出される。 (3) 高強度(最大酸素摂取量の 85%以上)の運動では、糖質が主なエネルギー供給源になる。〔○〕 (4) 脂質のみが燃焼した時の呼吸商は、1.0 である。 (5) 無酸素運動では、筋肉中の乳酸が減少する。
第 2 回問題 96 ストレス応答の抵抗期における生体反応に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) エネルギー消費量は、増加する。〔○〕 (2) 血清ビタミン C 値は、上昇する。 (3) 窒素出納は、正に傾く。 (4) 糖新生は、抑制される。 (5) 尿中カルシウム排泄量は、減少する。	問題 96 ストレス応答の抵抗期に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) エネルギー代謝は、低下する。 (2) 窒素出納は、正に傾く。 (3) 糖新生は、亢進する。〔○〕 (4) 脂肪分解量は、減少する。 (5) 尿中カルシウム排泄量は、減少する。
第 2 回問題 97 特殊環境下における生理的変化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 高温環境では、発汗量は減少する。 (2) 低温環境では、ノルアドレナリンの分泌が抑制される。 (3) 高圧環境では、動脈血酸素分圧が上昇する。〔○〕 (4) 低圧環境では、血中のヘモグロビン量が減少する。 (5) 無重力環境では、骨量が増加する。	問題 97 特殊環境における生体反応に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 低温環境では、熱産生が低下する。 (2) 高温環境では、アルドステロン分泌量が減少する。 (3) 低圧環境では、食欲が亢進する。 (4) 高圧環境では、肺胞内の酸素分圧が低下する。 (5) 無重力環境では、骨吸収が亢進する。〔○〕
第 1 回問題 109 小学校に勤務する栄養教諭である。肥満傾向児の保護者との面接において、保護者が「わが家は全員太っていますが、代々長寿の家系です。学校でいじめられている様子もなく、本人は楽しく生活できているので、このままで問題ありません。」と語っている。それに対する栄養教諭としての対応とソーシャルサポートの種類の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 食事の写真を撮影してきていただきましたが、甘いお菓子や飲み物の間食が目立ちますね。————— 情動的サポート (2) お子さまが楽しく生活できているようだからといって、このまま状態が続くのはよくないですよ。————— 情動的サポート (3) ヘルシーなおやつを親子料理教室で一緒につくみましょう。————— 情報的サポート (4) 体重について今は気になっていないようですが、何かご心配なことがあったらいつでもご連絡ください。————— 情動的サポート 〔○〕 (5) 小児肥満の危険性についてわかりやすく解説したパンフレットを差し上げますね。————— 評価的サポート	問題 99 特定保健指導で、野菜摂取量を増やすという行動目標を立てた単身赴任男性である。この男性に対し、家族が行うソーシャルサポートの内容とサポートの種類の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 冷凍のヘルシー弁当を手配する。————— 情報的サポート (2) 男性向けの野菜料理の本を購入して渡す。————— 情報的サポート 〔○〕 (3) 市販の惣菜をアレンジして野菜を増やす方法を教える。————— 評価的サポート (4) 毎月、野菜を使った常備菜を作りに行く。————— 情動的サポート (5) 毎週、励ましのメールを送る。————— 道具的サポート

(太字は的中選択肢および的中箇所)

2023 年かんもしの問題	第 37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題
第 3 回問題 100 社員食堂でイノベーション普及理論を活用し、果物の摂取拡大の取組を行った。その取組の内容と普及に必要な条件の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 安価で食べたいというニーズに合わせてカットフルーツを販売する。—— 試用可能性 (2) 果物に機能性表示食品であることをアピールしたラベルを貼る。—— 可観測性 (3) 果物のメニューに手軽にレシピを閲覧できる QR コードを貼る。—— 複雑性 [○] (4) 果物の試食販売をする。—— 適合性 (5) モニター調査の対象者に果物のメニューを食べた感想を SNS で発信してもらう。—— 比較優位性	問題 100 企業の管理栄養士が、中高年向けの新しい食事管理アプリを開発し、販売することになった。イノベーション普及理論の観察可能性(可観測性)に当たる内容として、最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 従来の食事管理アプリより、利用料金が安い。 (2) 食事管理アプリの試用体験会を実施する。 (3) 毎日の食事内容の入力が簡単である。 (4) 画面の文字が大きく、見やすい。 (5) スマートフォンで利用でき、仲間に見せられる。[○]
第 2 回問題 101 在宅勤務になり、自宅で過ごす時間が長くなったことで飲酒量が増えてしまったことを気にしている 50 歳男性に対する栄養カウンセリングである。共感的態度を示す管理栄養士の発言である。最も適切なのはどれか。1 つ選べ。 (1) お酒は、1 日にどのくらい飲んでみますか。 (2) ご自宅にいる時間が長いと、つい飲酒してしまいますよね。[○] (3) 1 週間のうち、お酒を飲まない日をつくりましょう。 (4) 同じような人はたくさんいますので、気にしないで大丈夫ですよ。	問題 101 「減量のために間食を抑えたいと思っていますが、介護によるストレスのせいか、なかなかやめられません。でも、なんとか間食をやめたいんです。」と話す肥満の中年女性への栄養カウンセリングである。クライアントの訴えたい内容を受け止めて、受容的態度を示す管理栄養士の発言として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。 (1) そんなに深刻にならなくても、大丈夫ですよ。 (2) 介護のストレスが、とても大変なんですね。 (3) なんとか間食を抑えて減量したいと、思っているらしいですね。[○] (4) そういうことはありますよね。
第 3 回問題 101 「在宅勤務が多くなり飲酒量が増えた」と話す、男性肥満者への動機づけ面接である。男性の行動変容へのチェンジトークを示す発言として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。 (1) できるだけ安価なお酒を選んで飲んでいます。 (2) 終電を気にせず遅くまで飲めるので楽しいです。 (3) たくさん飲んだときは、その分、夕食を抑えているので大丈夫です。 (4) お酒が自宅にあると飲んでしまうので、買い置きしないようにします。[○]	問題 102 営業職の男性に対する栄養カウンセリングである。動機づけ面接のチェンジトークに該当する男性の発言として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 仕事が忙しくて、食生活を改善できる気がしません。 (2) 仕事帰りに、居酒屋に寄ることが唯一の楽しみなんです。 (3) 仕事で、食事が不規則になるのは仕方ないですよ。 (4) 忙しい中でも、できることを考えてみると良いですよ。[○] (5) 家族のためにも、今は仕事を頑張ろうと思っています。
第 3 回問題 102 朝食欠食を改善するための男性への食生活支援内容と行動変容技法の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 朝食を食べると午前中の仕事に集中できることを実感してもらう。—— オペラント強化 [○] (2) 早起きして朝食付きの勉強会に参加することを周囲に伝えるように勧める。—— 刺激統制 (3) 朝食をスマートフォンで撮影して記録するように勧める。—— 認知再構成 (4) 前日に朝食用のパンを買っておくように勧める。—— 目標宣言 (5) 朝食を食べることが難しい時は、野菜ジュースを飲むように勧める。—— セルフモニタリング	問題 103 飲酒量を減らすことを目的とした、中年男性への栄養教育である。支援内容と行動変容技法の組合せとして、最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 会社の飲み会で、飲酒量が多い人の隣には座らないように提案する。—— ソーシャルスキルトレーニング (2) お酒を飲みなくなったら、喉が乾いているだけだと自分に言い聞かせることを提案する。—— 自己強化 (3) お酒を飲みに行く以外に、同僚とのコミュニケーションを図る方法を考えてもらう。—— 結果期待 (4) 週 1 回の休肝日にお酒を飲んだら、次の休肝日まで趣味のオンラインゲームをやらないことを提案する。—— オペラント強化 [○] (5) お酒を飲まないデメリットと、お酒を飲むデメリットを比べてもらう。—— ストレスマネジメント
第 2 回問題 105 栄養教育に参加したことが、組織レベルのエンパワメントへと展開した取組である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 保健センターでの離乳食教室の参加者が、学習内容についての情報を広く SNS で発信した。 (2) 保育園での食物アレルギー講習会に参加した保護者らが、定期的に学習会を開催するようになった。[○] (3) 小学校での食育の授業で朝食の重要性を学習した児童らが、地域の朝食メニューコンテストに応募した。 (4) 特定保健指導を受けた社員らが、社員食堂でヘルシーメニューを選ぶ頻度が増加した。 (5) 地域の高血圧予防教室の参加者が、地域の飲食店をめぐる会を結成し、健康に配慮した店舗の情報提供を行政に提案した。	問題 105 K 市の介護予防教室を修了した高齢者が、定期的に体操を行うセルフヘルプグループを立ち上げた。その組織活動を発展させていくために市の管理栄養士が行った活動である。組織をエンパワメントする支援として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 他地域で同様の活動を行う組織の様子を紹介し、自分たちの特徴と課題を考えるように促した。 (2) 市民の集まる場で、体操の様子を披露する機会を作り、発表してもらった。[○] (3) 次年度の活動を考える会議で、話し合いの進行役を担った。 (4) 体操に加え、食生活に関する活動を進めてもらうために、情報提供を行った。
第 3 回問題 106 男性社員を対象に、メタボリックシンドロームの予防を目的とした栄養教育を行った。栄養教育の目標の内容とその種類の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 1 日に 8,000 歩以上歩く者の割合を、現状の 30 % から 60 % にする。—— 結果目標 (2) 腹囲が 80 cm 以上の者の割合を、現状の 40 % から 20 % にする。—— 実施目標 (3) エレベーター前に階段利用を推奨するポスターを、現状の 1 階からすべての階に掲示する。—— 環境目標 [○] (4) 調理方法によるエネルギー量の違いがわかる者の割合を、現状の 30 % から 100 % にする。—— 行動目標 (5) 社員食堂で提供する野菜 80 g を使用した小鉢メニューを、現状の 0 品から 3 品にする。—— 学習目標	問題 107 K 大学で在学生を対象に調査をしたところ、体調不良と朝食内容に関連が見つかった。大学として「朝ごはん教室」を開催することとなり、目標を設定した。実施目標の項目として、最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 体調不良が改善した学生を、50 % 以上にする。 (2) 主食・主菜・副菜を組み合わせた朝食を週 2 回以上食べる学生を、70 % 以上にする。 (3) 学生食堂に対し、朝食の提供日数を週 4 日に増やすよう働きかける。 (4) 次回の教室にも参加したいと思う学生を、80 % 以上にする。[○] (5) 栄養バランスの良い朝食の必要性を説明できる学生を、80 % 以上にする。

2023 年かんもしの問題

第2 回問題 109

サッカー部に所属している高校生を対象に、筋力の向上を目的とした 6 か月間の栄養教育プログラムを実施した。プログラム実施後の変化と、評価の種類の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) プログラムが予定どおりに進んだ。 ————— 企画評価
 (2) 食事と競技パフォーマンスに関する知識が増えた。 ————— 経過評価
 (3) 練習前後の補食を準備するようになった。 ————— 影響評価 (○)
 (4) 毎食、主食を摂取する重要性を理解した。 ————— 結果評価
 (5) 除脂肪体重が増加した。 ————— 経済評価

第3 回問題 114

経腸栄養法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 4 週間以上の実施の場合は、経鼻経管栄養法とする。
 (2) 下部消化管完全閉塞時は、経腸栄養法の適応となる。
 (3) 空腸への標準的な投与速度は、100 mL/ 時以下である。(○)
 (4) 下痢が生じた場合は、浸透圧の高い経腸栄養剤に変更する。
 (5) 経腸栄養法を行う場合は、ファロー位は推奨されない。

第3 回問題 116

医薬品と医薬品が栄養素に及ぼす影響の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬 ————— 尿中へのカリウム排泄の促進
 (2) サイアザイド系利尿薬 ————— 尿管でのナトリウム再吸収の促進
 (3) α - グルコシダーゼ阻害薬 ————— 肝臓でのグルコース合成の抑制
 (4) HMG - CoA 還元酵素阻害薬 ————— 肝臓でのコレステロール合成の抑制 (○)
 (5) セフメゾール (抗菌薬) ————— 血清ビタミンK 合成の促進

第3 回問題 117

48 歳、男性。デスクワーク中心の会社員である。47 歳時に右足の発赤、疼痛により外来受診したところ、高尿酸血症による痛風関節炎と診断された。身長 161 cm、体重 73 kg、BMI 28.2 kg/m² と肥満度 1 に相当している。食事内容を聴取した結果、1 日のエネルギー摂取量は 3,000 ～ 5,000 kcal 程度、ビールは 1,050 mL/ 日摂取しており、アルコール摂取過多であったが、本人は「それほどお酒は飲んでいない」と訴えている。1 日の目標エネルギー量は、1,600 kcal とした。この患者の SOAP とその内容の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) S ————— BMI 28.2 kg/m²
 (2) O ————— 1 日の目標エネルギー量 1,600 kcal
 (3) A ————— 肥満度 1 に相当 (○)
 (4) P ————— それほどお酒は飲んでいない
 (5) P ————— アルコール摂取過多

第3 回問題 118

50 歳、男性、事務職。身長 155 cm、体重 67 kg、BMI 27.9 kg/m²、標準体重 53 kg、内臓脂肪面積 110 cm²、空腹時血糖 130 mg/dL、血圧 120/75 mmHg、トリグリセリド 130 mg/dL。他に健康障害はみられない。この患者の病態と栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) メタボリックシンドロームである。
 (2) 超低エネルギー食 (VLCD) を用いる。
 (3) たんぱく質の摂取量は、1.0 ～ 1.2 g/kg 標準体重/日とする。(○)
 (4) 脂質の摂取量は、20 g/日未満に制限する。
 (5) 減量目標は 1 か月で 5% 以上とする。

第2 回問題 120

脂質異常症の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 高 LDL コレステロール血症では、コレステロールの摂取量を 400 mg/日未満とする。
 (2) 高 LDL コレステロール血症では、食物繊維の摂取量を 20 g/日以下とする。
 (3) 低 HDL コレステロール血症では、トランス脂肪酸の摂取量を増やす。
 (4) 高トリグリセリド血症では、炭水化物の摂取エネルギー比率を 50～60%E とする。(○)
 (5) 高カロリミクロン血症では、脂質の摂取エネルギー比率を 20～25%E とする。

第 37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題

問題 109

K 市保健センターの管理栄養士である。生後 4、5 か月児を持つ保護者を対象に、離乳食作りの不安を軽減するための教室を開催した。教室の評価と、評価の種類の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 関係部署との連携により、予算内で実施することができた。 ————— 経過評価
 (2) 離乳食作りに必要な器具を揃え始めた保護者が増加した。 ————— 結果評価
 (3) 離乳食で困った時に相談できる場所を知っている保護者が増加した。 ————— 影響評価 (○)
 (4) 育児不安を感じる保護者が減少した。 ————— 形成的評価
 (5) 教室参加者の 80% が満足と回答した。 ————— 企画評価

問題 113

空腸瘻にて 1.0 kcal/mL の成分栄養剤 (常温) を 100 mL/ 時で 300 mL 投与したところ、下痢を生じた。その対策に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 成分栄養剤の濃度を、2.0 kcal/mL に変更する。
 (2) 成分栄養剤を、脂肪含量の多い経腸栄養剤に変更する。
 (3) 成分栄養剤の温度を、4℃ にして投与する。
 (4) 成分栄養剤の投与速度を、20 mL/ 時に変更する。(○)
 (5) 成分栄養剤を、1 時間で 300 mL 投与する。

問題 115

医薬品が電解質に及ぼす影響の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) サイアザイド系利尿薬 ————— 尿中ナトリウム排泄抑制
 (2) ループ利尿薬 ————— 尿中カリウム排泄抑制
 (3) アンジオテンシン変換酵素阻害薬 ————— 血清カリウム値低下
 (4) 甘草湯 ————— 血清カリウム値上昇
 (5) ステロイド内服薬 (コルチゾール) ————— 血清カリウム値低下 (○)

問題 116

BMI 17.5 kg/m² の患者。むせるので食事はつらいとのことで、嚥下障害による経口摂取量の不足と評価した。嚥下調整食について本人と家族に指導し、むせる状態や食事摂取量、体重の経過を観察することとした。この症例における SOAP とその内容の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) S ————— BMI 17.5 kg/m²
 (2) O ————— 嚥下障害による経口摂取量の不足と評価した。
 (3) A ————— むせるので食事はつらい。
 (4) P (治療計画) ————— むせる状態や食事摂取量、体重の経過を観察する。
 (5) P (教育計画) ————— 嚥下調整食について本人と家族に指導する。(○)

問題 118

50 歳、男性。事務職。身長 181 cm、体重 90 kg、BMI 27.5 kg/m²、標準体重 72 kg、血圧 145/90 mmHg。他に異常は認められなかった。この患者に初めて外来栄養指導を行うことになった。1 日当たりの目標栄養量の組合せである。ただし、食塩は 6 g/日未満とする。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- | エネルギー
(kcal/日) | たんぱく質
(g/日) | 脂肪
(g/日) |
|-------------------|----------------|-------------|
| (1) 600 | 40 | 20 |
| (2) 600 | 80 | 15 |
| (3) 1,800 | 40 | 60 |
| (4) 1,800 | 80 | 50 (○) |
| (5) 1,800 | 80 | 15 |

問題 120

50 歳、男性。事務職。標準体重 60 kg の高 LDL コレステロール血症の患者である。初回の外来栄養指導の翌月、2 回目の指導の前に 1 日当たりの摂取量の評価を行った。改善が必要な項目として、最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) エネルギー 1,600 kcal
 (2) たんぱく質 80 g
 (3) 飽和脂肪酸 8 g
 (4) コレステロール 150 mg
 (5) 食物繊維 10 g (○)

2023 年かんもの問題

第 1 回問題 124

57 歳、男性、事務職。身長 170 cm、体重 71 kg（標準体重 63 kg）の非代償性肝硬変患者である。肝性脳症がみられたため、緊急入院で治療を受けた。入院前は、アルコールを毎日ビール 2 缶（700 mL）と日本酒 2 合程度飲んでた。治療により症状が改善したため、肝不全用経腸栄養剤による就寝前エネルギー投与（LES）を導入し、自宅療養を開始した。耐糖能異常はない。この患者の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) エネルギー摂取量は、20 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) たんぱく質摂取量は、2.0 g/kg 標準体重/日とする。
- (3) 炭水化物の摂取量は、制限する必要はない。〔○〕
- (4) 脂質の摂取エネルギー比率は、15 ～20%E とする。
- (5) 鉄は、積極的に摂取する。

第 3 回問題 124

肺炎に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 急性肺炎では、血中アミラーゼ値が低下する。
- (2) 急性肺炎の急性期では、経腸栄養法を第一選択とする。
- (3) 急性肺炎の回復期では、脂質の積極的な摂取を勧める。
- (4) 慢性肺炎の原因は、胆石症が最も多い。
- (5) 慢性肺炎の非代償期では、インスリン分泌が低下する。〔○〕

第 2 回問題 127

CKD（慢性腎臓病）における成人の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) ステージ G1 では、カリウムの摂取量を制限する。
- (2) ステージ G2 では、リンの摂取量を制限する。
- (3) ステージ G3a では、たんぱく質の摂取量を 0.6 ～ 0.8 g/kg 標準体重/日とする。
- (4) ステージ G4 では、食塩摂取量を 3 g/日未満とする。
- (5) ステージ G5 では、エネルギー摂取量を 25 ～ 35 kcal/kg 標準体重/日とする。〔○〕

第 3 回問題 127

68 歳、男性。標準体重 60 kg である。週に 3 回血液透析療法を受けており、透析前の血清カリウム値は 5.6 mEq/L だった。この患者の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) エネルギー摂取量は、1,500 kcal/日とする。
- (2) たんぱく質の摂取量は、50 g/日とする。
- (3) 食塩摂取量は、5 g/日とする。〔○〕
- (4) カリウムの摂取量は、制限しない。
- (5) リンの摂取量は、1,350 mg/日とする。

第 1 回問題 129

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 脂質の摂取を制限する。
- (2) 分枝アミノ酸（BCAA）の摂取を制限する。
- (3) エネルギー摂取量は、20 ～ 25 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (4) 経鼻経管栄養法は禁忌である。
- (5) 分割食とする。〔○〕

第 1 回問題 133

胃切除後の変化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 食欲は亢進する。
- (2) 溶血性貧血がみられる。
- (3) 骨密度は上昇する。
- (4) 食事直後は、全身の循環血流量が増加する。
- (5) 食事の 2～3 時間後に、低血糖がみられる。〔○〕

第 3 回問題 134

先天性代謝異常症の栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) フェニルケトン尿症では、フェニルアラニンの摂取を勧める。
- (2) メーブルシロップ尿症では、分枝アミノ酸の摂取を勧める。
- (3) ホモシスチン尿症では、メチオニンの摂取を勧める。
- (4) ガラクトース血症では、乳糖の摂取を勧める。
- (5) 糖尿病Ⅰ型では、グルコースの摂取を勧める。〔○〕

第 37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題

問題 123

53 歳、男性。標準体重 64 kg の肝硬変患者。血清アルブミン値 2.2 g/dL、血清フェリチン値 200 ng/mL（基準値 15～160 ng/mL）、腹水・浮腫あり、肝性脳症が認められる。この患者に肝不全用経腸栄養剤 630 kcal を投与した際の、食事から摂取する 1 日当たりの目標栄養量に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) エネルギーは、600 kcal とする。
- (2) たんぱく質は、40 g とする。〔○〕
- (3) 食塩は、8 g とする。
- (4) 鉄は、12 mg 以上とする。
- (5) 食物繊維は、10 g 以下とする。

問題 124

慢性肺炎の病態と栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 代償期の間欠期では、たんぱく質摂取量を 0.8 g/kg 標準体重/日とする。
- (2) 代償期の再燃時では、血清アミラーゼ値が低下する。
- (3) 非代償期では、腹痛が増強する。
- (4) 非代償期では、インスリン分泌が低下する。〔○〕
- (5) 非代償期では、脂肪摂取量を 10 g/日とする。

問題 126

55 歳、女性。標準体重 55 kg の CKD 患者。eGFR 40 mL/分/1.73 m²。この患者の 1 日当たりの目標栄養量の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

エネルギー (kcal/日)	たんぱく質 (g/日)
(1) 1,700	30
(2) 1,700	40 〔○〕
(3) 2,100	30
(4) 2,100	40
(5) 2,400	40

問題 127

血液透析患者の 1 日当たりの目標栄養量である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) エネルギーは、25 kcal/kg 標準体重とする。
- (2) たんぱく質は、1.5 g/kg 標準体重とする。
- (3) カリウムは、3,000 mg とする。
- (4) リンは、たんぱく質量(g) × 15 mg とする。〔○〕
- (5) 飲水量は、2,000 mL とする。

問題 130

COPD の病態と栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 呼吸筋の酸素消費量は、減少する。
- (2) 基礎代謝量は、減少する。
- (3) 骨密度は、低下する。〔○〕
- (4) エネルギー摂取量は、制限する。
- (5) BCAA 摂取量は、制限する。

問題 134

胃切除患者における術前・術後の病態と栄養管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 経口補水は、術前 2～3 時間まで可能である。〔○〕
- (2) 術後の早期経腸栄養法の開始は、腸管バリア機能を障害する。
- (3) 早期ダンピング症候群では、低血糖症状が認められる。
- (4) 胃全摘術後は、カルシウムの吸収量が増加する。
- (5) 胃全摘術後は、再生不良性貧血が認められる。

問題 136

ホモシスチン尿症の治療で制限するアミノ酸である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) ロイシン
- (2) バリン
- (3) メチオニン 〔○〕
- (4) シスチン
- (5) フェニルアラニン

2023 年かんもの問題

第3 回問題 137 公衆栄養活動に関する記述である。誤っているのはどれか。1 つ選べ。 (1)ヘルスプロモーションの概念を重視する。 (2)地域のコミュニティは、社会資源として活用できる。 (3)ソーシャルキャピタルの醸成を図ることが効果的である。 (4)行政栄養士が主導して進める。〔×〕 (5)対象となる地域集団を地域診断で把握する。	
第3 回問題 141 健康増進法に定められている事項である。正しいのはどれか。1 つ選べ。 (1)都道府県健康増進計画の策定 〔○〕 (2)市町村食育推進計画の策定 (3)食品表示基準の策定 (4)妊婦健康診査の実施 (5)特定保健指導の実施	
第1 回問題 143 栄養士法に関する記述である。正しいのはどれか。1 つ選べ。 (1)管理栄養士の免許は、都道府県知事が与える。 (2)管理栄養士名簿は、市町村に備えられている。 (3)食生活改善推進員についての規定がある。 (4)管理栄養士の名称独占についての規定がある。〔○〕 (5)栄養教諭についての規定がある。	
第2 回問題 143 国民健康・栄養調査に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)調査の企画立案は、保健所が行う。 (2)調査の構成は、身体状況調査と栄養摂取状況調査の2 つである。 (3)身体状況調査では、1 日の身体活動量を測定する。 (4)栄養摂取状況調査では、世帯員個人の食事量を把握する。〔○〕 (5)食物摂取状況の把握には、3 日間の秤量法を用いる。	
第2 回問題 144 わが国の「食事バランスガイド」に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)文部科学省と農林水産省の2 省合同で策定された。 (2)1 食で摂取する目安量を示している。 (3)食生活指針を具体的な行動に結びつける役割がある。〔○〕 (4)主食を1SV (サービング) としている。 (5)食品ロス削減を目的に策定された。	
第2 回問題 145 食事調査法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)24 時間食事思い出し法は、食物摂取頻度調査法に比べて調査員の技術への依存度が低い。 (2)食物摂取頻度調査法では、目的に応じて作成された食品リストを用いる。〔○〕 (3)秤量法は、食物摂取頻度調査法に比べて妥当性が低い。 (4)目安量法は、秤量法に比べて調査対象者の負担が大きい。 (5)陰膳法は、食品成分表の誤差の影響を受ける。	
第1 回問題 149 公衆栄養アセスメントに用いられる情報と既存資料の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)学校給食の実施状況 ————— 学校保健統計調査 (2)食中毒事件数 ————— 感染症動向調査 (3)栄養素等摂取状況 ————— 家計調査 (4)健康診断の受診状況 ————— 国民生活基礎調査 〔○〕 (5)離乳食の状況 ————— 乳幼児身体発育調査	
第3 回問題 148 日本人の食事摂取基準 (2020 年版) に基づいた集団の食事状況の評価に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)エネルギー摂取の過不足の評価には、推定エネルギー必要量 (EER) を用いる。 (2)栄養素の摂取不足の評価では、摂取量の分布から EAR を下回る者の割合を算出する。〔○〕 (3)栄養素の摂取不足の評価では、摂取量の中央値が AI を下回っていれば不足状態にあると判断できる。 (4)栄養素の過剰摂取の評価では、摂取量の分布から DG を上回る者の割合を算出する。 (5)生活習慣病の発症予防を目的とした評価では、摂取量の分布から AI を下回る者の割合を算出する。	

第37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題

問題 137 公衆栄養活動に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)エンパワメントとは、地域の人々の結束力を示すものである。 (2)ハイリスクアプローチでは、対象を限定せず、全体への働きかけを行う。 (3)ヘルスプロモーション活動の一環として行われる。〔○〕 (4)コミュニティオーガニゼーションは、自治体が行う。 (5)医療機関に通院中の者は、対象としない。	
問題 142 健康増進法に規定されているものである。誤っているのはどれか。1 つ選べ。 (1)都道府県健康増進計画の策定 (2)健康診査等指針の策定 (3)生活習慣病の発生状況の把握 (4)受動喫煙防止の対策 (5)食品表示基準の策定 〔×〕	
問題 143 栄養士法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)第二次世界大戦後に制定された。〔○〕 (2)栄養士は、傷病者に対する療養のために必要な栄養の指導を行うことを業とする者と規定している。 (3)管理栄養士免許は、都道府県知事が与える。 (4)食生活改善推進員の業務内容を規定している。 (5)保健所における管理栄養士の配置基準を規定している。	
問題 144 国民健康・栄養調査に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)地域保健法に基づき実施される。 (2)健康日本 21 (第二次) の評価に用いられる。〔○〕 (3)調査の企画・立案は、都道府県が行う。 (4)栄養摂取状況調査の対象には、乳児が含まれる。 (5)栄養摂取状況調査の結果は、世帯当たりの平均摂取量として示される。	
問題 145 食事バランスガイドに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)食育推進基本計画を具体的に行動に結びつけるものである。 (2)運動の重要性が示されている。〔○〕 (3)摂取すべき水分の量が示されている。 (4)菓子は主食に含まれる。 (5)1 食で摂るサービング(SV)の数が示されている。	
問題 146 食事調査法に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)24 時間食事思い出し法は、高齢者の調査に適している。 (2)食事記録法は、食物摂取頻度調査法に比べて、対象者の負担が小さい。 (3)食事記録法において、目安量法は秤量法に比べて、摂取量推定の誤差が小さい。 (4)食物摂取頻度調査法の再現性は、同一集団を対象として検討される。〔○〕 (5)陰膳法により推定した栄養素等摂取量は、食品成分表の影響を受ける。	
問題 148 公衆栄養アセスメントに用いる情報と、その出典の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)出生率 ————— 国勢調査 (2)児童の発育状況 ————— 学校保健統計調査 〔○〕 (3)食中毒の患者数 ————— 感染症発生動向調査 (4)世帯の食料費 ————— 国民生活基礎調査 (5)健康診断受診の状況 ————— 患者調査	
問題 149 日本人の食事摂取基準 (2020 年版) を用いた、成人集団における食事摂取状況の評価とその指標の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1)エネルギーの過剰摂取 ——— 推定エネルギー必要量 (EER) を超えて摂取している者の割合 (2)エネルギーの摂取不足 ——— BMI の平均値と目標とする BMI の範囲の下限值との差 (3)栄養素の摂取不足 ——— 栄養素の平均摂取量と RDA の差 (4)栄養素の摂取不足 ——— EAR を下回る者の割合 〔○〕 (5)栄養素の過剰摂取 ——— AI を上回る者の割合	

2023 年かんものしの問題	第 37 回 (2023 年) 管理栄養士国家試験問題
第 2 回問題 148 公衆栄養マネジメントに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 公衆栄養マネジメントの対象は、地域的な範囲に限られる。 (2) プリシード・プロシードモデルの最終目標は、公衆栄養プログラムの実施である。 (3) 専門家が現状分析した課題に対し住民参加を求める手法を、目的設定型アプローチという。 (4) 地域の社会資源に、ボランティア団体は含まれない。 (5) 公衆栄養活動の実施中も実施状況を評価し、公衆栄養プログラムを修正する。〔○〕	問題 150 公衆栄養プログラムの目標設定に関する記述である。誤っているのはどれか。1 つ選べ。 (1) 目標は、地域の現状を評価した上で設定する。 (2) 候補となる目標が複数ある場合は、重要度と改善可能性がいずれも高いものを最優先とする。 (3) 目標達成までの取組期間を明示する。 (4) 課題解決型アプローチでは、目標値は住民が設定する。〔×〕 (5) 目標値は、対象集団から得られた調査結果を参考に設定する。
第 2 回問題 152 地域包括ケアシステムに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 地域包括ケアシステムは、全国共通のモデルで構築されている。 (2) 地域包括ケアシステムとは、医療機関を中心としてサービスを提供するシステムである。 (3) 地域包括ケアシステムにおける共助とは、住民同士の支え合いをいう。 (4) 地域包括支援センターの設置主体は、都道府県である。 (5) 地域包括支援センターでは、配食サービスを支援している。〔○〕	問題 151 地域包括ケアシステムに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 地域包括ケアシステムの構築は、地域保健法に基づく。 (2) 介護保険施設入所者は、対象としない。 (3) 地域ケア会議は、三次医療圏ごとに設置しなければならない。 (4) 地域包括支援センターの設置者は、都道府県である。 (5) 地域支援事業は、介護予防を目的とした事業である。〔○〕
第 2 回問題 153 健康増進法に基づき、管理栄養士を置かなければならない特定給食施設である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 昼食 350 食を提供する事業所 (2) 朝食 300 食、夕食 200 食を提供する社員寮 (3) 朝食 400 食、昼食 50 食、夕食 300 食を提供する児童養護施設 (4) 朝食 300 食、昼食 350 食、夕食 300 食を提供する介護老人福祉施設 (5) 朝食、昼食、夕食でそれぞれ 300 食を提供する病院 〔○〕	問題 154 健康増進法に基づく、特定給食施設と管理栄養士の配置に関する組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 朝食、昼食、夕食の合計で 300 食を提供する児童自立支援施設 ————— 配置しなければならない。 (2) 朝食 300 食、夕食 300 食を提供する学生寮 ———— 配置しなければならない。 (3) 昼食 400 食を提供する学生食堂 ————— 配置しなければならない。 (4) 朝食 150 食、昼食 450 食、夕食 150 食を提供する事業所 ————— 配置するよう努めなければならない。〔○〕 (5) 1 回 300 食を提供する病院 ———— 配置するよう努めなければならない。
第 3 回問題 154 給食経営におけるトータルシステムとサブシステムに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 7 原則 12 手順からなるシステムをトータルシステムという。 (2) サブシステムには、支援システムは含まれない。 (3) 管理栄養士に対する初任者研修の実施は、実働作業システムに分類される。 (4) トータルシステムとは、給食の経営・運営に関わるすべての管理業務を統合させたシステムのことである。〔○〕 (5) 管理栄養士はサブシステムを機能させ、施設長がトータルシステムを機能させる。	問題 155 給食経営管理におけるトータルシステムに関する内容である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 食材料に関する情報をコンピュータ端末から入力し、発注する仕組み (2) 給食経営の管理業務ごとにマネジメントサイクルを回し、それらを連動させて機能させる仕組み 〔○〕 (3) 複数の施設に食事を供給するために、1 か所の調理施設で集中して調理できる機能をもたせる仕組み (4) 給食を、クックチルとクックサーブを統合させて運営する仕組み (5) 配膳方法に適した配膳設備を活用して、出来上がった食事を利用者に適切な状態で提供する仕組み
第 2 回問題 157 医療施設（病院）において業務委託が可能な業務である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 献立表作成基準の作成 (2) 献立作成 〔○〕 (3) 調理時の衛生管理点検記録の確認 (4) 院内調理における食材の点検 (5) 食事箋の管理	問題 157 病院において給食の運営業務を外部委託することで、委託側が軽減できる業務である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 嗜好調査の実施 (2) 食事療養に関する会議の開催 (3) 食事箋の管理 (4) 給食従事者の労務管理 〔○〕 (5) 検食の実施
第 2 回問題 158 特定給食施設における給食経営の資源とその管理内容の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 技術的資源 ————— 事務員の新規採用 (2) 物的資源 ————— 食材の市場価格の確認 (3) 人的資源 ————— 販売サービスのノウハウ管理 (4) 情動的資源 ————— 調理技術向上のための研修会の実施 (5) 時間的資源 ————— 調理従事者の勤務時間数の管理 〔○〕	問題 158 給食経営における資源に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) オール電化された厨房は、人的資源に当たる。 (2) ABC 分析に基づいて A グループの食材を重点管理することは、物的資源の有効活用に当たる。〔○〕 (3) 調理従事者に衛生教育を実施することは、資金的資源の有効活用に当たる。 (4) 新しい大量調理機器の情報は、方法的資源に当たる。 (5) 省エネルギー調理機器の導入は、情動的資源の有効活用に当たる。
第 1 回問題 163 給食における品質管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 総合品質を維持するためには、献立の標準化が重要である。〔○〕 (2) 設計品質を向上させるために、ISO27000 規格を導入する。 (3) 適合（製造）品質は、ABC 分析により評価する。 (4) 作業工程表は、適合（製造）品質を評価する指標となる。 (5) 盛付け量が作業指示書どおりかを評価するのは、設計品質である。	問題 165 給食の品質管理に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。 (1) 設計品質は、ABC 分析で評価する。 (2) 適合（製造）品質は、期末在庫量で評価する。 (3) 適合（製造）品質は、検食で評価する。〔○〕 (4) 総合品質は、ISO14001 で評価する。 (5) 総合品質は、給与栄養目標量で評価する。

第 3 回問題 166

クックチルシステムに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1)冷却後は、ただちに-18℃で保存する。
- (2)提供時の再加熱は、食品の中心温度 75℃、1 分以上を確認する。〔○〕
- (3)調理した料理の保存期間は、最長 14 日である。
- (4)クックサーブシステムに比べ、労働生産性が低くなる。
- (5)病院給食では、導入が認められていない。

問題 166

クックチルシステムに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。

- (1)クックサーブシステムに比べ、多くの調理従事者が必要である。
- (2)前倒し調理により、調理作業の閑忙の平準化が可能である。〔○〕
- (3)加熱調理後は、90 分以内に中心温度 5℃まで冷却する。
- (4)クックフリーズシステムに比べ、保存日数が長い。
- (5)提供直前の再加熱は、中心温度 65℃、1 分間以上加熱する。

2023 年 5 月 2 日時点